

滋賀県訓令第25号

琵琶湖環境研究推進機構設置規程を次のように定める。

平成26年4月25日

滋賀県知事 嘉田由紀子

琵琶湖環境研究推進機構設置規程

(設置)

第1条 本庁の部課および試験研究機関が相互に連携して行政課題の解決に向けた研究を行い、その成果を施策に反映することにより、琵琶湖および環境に係る課題を解明し、持続可能な滋賀社会を構築するため、琵琶湖環境研究推進機構(以下「推進機構」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 推進機構の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 琵琶湖および環境に係る連携研究の推進方針の策定に関すること。
- (2) 琵琶湖および環境に係る現状分析および課題の整理に関すること。
- (3) 研究の調整および進行管理に関すること。
- (4) 研究成果の施策への反映に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、琵琶湖および環境に係る研究に関すること。

(構成)

第3条 推進機構の構成員は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 委員長
- (2) 委員
- (3) 幹事
- (4) 調査員

2 委員長は、副知事をもって充てる。

3 委員は、別表第1および別表第2に掲げる職にある者をもって充てる。

4 幹事は、別表第3に掲げる職にある者および別表第2に掲げる職にある者がその職の属する課または試験研究機関の職員のうちから推薦する者をもって充てる。

5 調査員は、別表第3に掲げる職にある者および別表第2に掲げる職にある者がその職の属する課または試験研究機関の職員のうちから推薦する者をもって充てる。

6 知事は、第3項および第4項に定めるもののほか、必要と認める者を委員または幹事に命じ、または委嘱することができる。

(構成員の職務)

第4条 委員長は、推進機構の事務を統括する。

2 委員長に事故があるとき、または委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がそ

の職務を代行する。

3 委員は、それぞれの職務に応じて所掌事務を処理する。

4 幹事は、それぞれの職務に応じて委員を補佐し、所掌事務を整理する。

5 調査員は、それぞれの職務に応じて、幹事を補佐し、上司の命を受けて所掌事務を調査する。

(研究推進顧問)

第5条 推進機構に、研究推進顧問を置く。

2 研究推進顧問は、本部会議に出席して、推進機構の所掌事務に関し科学的知見から意見を述べる。

3 研究推進顧問は、琵琶湖環境科学研究センター長および琵琶湖博物館長をもって充てる。

4 知事は、前項に定めるもののほか、必要と認める者を研究推進顧問に委嘱することができる。

(会議)

第6条 推進機構の会議は、本部会議、幹事会議および調査員会議とする。

2 本部会議は、委員長および委員で構成し、委員長が招集し、第2条に掲げる事項について審議する。この場合において、委員長は、審議事項に関係する委員のみを招集し、または委員以外の者の出席を求めることができる。

3 幹事会議は、幹事で構成し、審議事項を所掌する委員が招集し、第2条に掲げる事項について協議する。この場合において、当該委員は、審議事項に関係する幹事のみを招集し、または幹事以外の者の出席を求めることができる。

4 調査員会議は、調査員で構成し、調査事項を所掌する幹事が招集し、第2条に掲げる事項について調査検討する。

この場合において、当該幹事は、協議事項に関係する調査員のみを招集し、または調査員以外の者の出席を求める

ことができる。

(庶務)

第7条 推進機構の庶務は、琵琶湖環境部環境政策課において処理する。

(その他)

第8条 この訓令に定めるもののほか、推進機構の運営に関し必要な事項は、委員長が本部会議に諮って定める。

付 則

この訓令は、平成26年4月25日から施行する。

付 則(平成27年訓令第38号抄)

1 この訓令は、平成28年1月1日から施行する。

別表第1(第3条関係)

琵琶湖環境部長 健康医療福祉部長 商工観光労働部長 農政水産部長

別表第2(第3条関係)

琵琶湖環境科学研究センター副センター長 琵琶湖博物館副館長 衛生科学センター所長 工業技術総合センター所長 東北部工業技術センター所長 農業技術振興センター所長 畜産技術振興センター所長 水産試験場長

別表第3(第3条関係)

琵琶湖環境部	環境政策課長 琵琶湖政策課長 森林政策課長
健康医療福祉部	薬務感染症対策課長 生活衛生課長
商工観光労働部	モノづくり振興課長
農政水産部	農政課長 農業経営課長 畜産課長 水産課長